

NEXT EXHIBITION



特別展

日中文化交流協定 締結40周年記念 三国志

会期:10月1日(火)▶2020年1月5日(日)
会場:3階特別展示室

日本でも、小説、マンガ、ゲーム、人形劇など、さまざまな切り口から広く親しまれ、人気の高い「三国志」。本展では、近年中国で発掘された選りすぐりの考古資料からその実像に迫り、これまでの三国志を超えた、考古学ならではのリアルな三国志像をご紹介します。

文化交流展特集展示

はんぎょうとうぜん 版経東漸〜対馬がつなぐ仏の教え〜

会期:10月29日(火)▶12月22日(日)
会場:4階文化交流展示室 第9室

縄文王国やまなし

会期:10月29日(火)▶12月22日(日)
会場:4階文化交流展示室 第3室

今回の特別展・特集展示もお楽しみに！

ACCESS

車

九州自動車道「太宰府」ICまたは「筑紫野」ICから
高雄交差点経由で約20分

JR

JR博多駅からJR鹿児島本線(快速約15分)でJR
二日市駅下車、JR二日市駅から西鉄二日市駅(徒
歩約12分、バス約6分)、西鉄二日市駅から西鉄太
宰府線利用

西鉄バス

博多バスターミナル(1階11番のりば太宰府行き)から
西鉄太宰府駅下車(所要時間約40分)、徒歩約10分

西鉄電車

西鉄福岡(天神)駅から西鉄天神大牟田線(特急約16分
／急行約19分)で西鉄二日市駅乗り換え、西鉄太宰府線
(約5分)で太宰府駅下車、徒歩約10分
※特急／急行料金不要

駐車場の空き情報

九州国立博物館周辺の駐車場の
空き情報がウェブでチェック
できます。右記QRコードで携帯
からもチェックできます。
※特別展会期中は混雑が予想
されます。



INFORMATION

開館時間	9:30～17:00(入館は16:30まで)、毎週金・土曜日は～20:00(入館は19:30まで)
休館日	月曜日※7月15日、8月12日、9月16日・23日、10月14日、11月4日は開館 ※7月16日、9月17日・24日、10月15日、11月5日、12月24日～31日は休館

文化交流展観覧料	一般/430円(220円) 大学生/130円(70円) ※特別展は別料金
特別展観覧料	室町将軍 戦乱と美の足利十五代<開催期間:7月13日(土)～9月1日(日)> 一般/1,600円(1,400円) 高大生/1,000円(800円)* 小中生/600円(400円)* ★学生証等の提示をお願いします。

※文化交流展観覧料は変更になる場合がありますので、予めご了承ください。 ※文化交流展観覧料の()内は有料の方が20名以上の団体料金。※特別展観覧料の()内は前売り、有料の方が20名以上の団体料金および当日17:00以降販売の夜間割引料金。※障害者手帳等をご持参の方とその介護者1名は無料。展示室入口にて障害者手帳等をご提示ください。
※高校生以下・18歳未満および満70歳以上の方は、文化交流展は無料。文化交流展示室入口にて生年月日が分かるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証等)をご提示ください。※特別展の観覧料で、文化交流展(平常展)もご覧いただけます。
※満65歳以上の方は、特別展については()内料金でご購入いただけます。券売所にて生年月日が分かるもの(健康保険証、運転免許証等)をご提示ください。※キャンパスメンバーズの方は文化交流展は無料。特別展については()内料金でご購入いただけます。券売所にて学生証、教職員証等をご提示ください。

『Asiage(アジアージュ)』とは 九州国立博物館の季刊情報誌です。館のコンセプト「日本文化の形成をアジア史的観点から捉える」から『Asiage(アジアージュ)』と名付けられました。

メルマガ、ツイッターでも楽しい情報を発信しています。メルマガ <https://fofa.jp/kyuhaku/a.p/101/> Twitter @kyuhaku_kohoをフォローしてね！

梅ヶ枝餅 お食事処／茶房・ぎやらりー

太宰府

かしの家

梅ヶ枝餅 お食事処 TEL 092-922-1010
茶房・ぎやらりー TEL 092-922-7110
てのこい家 (てぬぐい専門店) TEL 092-922-1035
笠のぶ (梅ヶ枝餅・丼物・茶房) TEL 092-922-5582

てのこい家 笠乃家

0120-818-151 〒818-0117 太宰府市宰府2-7-24(太宰府天満宮参道) <http://www.kasanoya.com/>

九州国立博物館 季刊情報誌

Asiage「アジアージュ」vol.53

2019年7月1日発行 発行:九州国立博物館

本誌の全部または一部を無断で複製(コピー)することは禁じられています。

九州国立博物館 | KYUSHU NATIONAL MUSEUM

Asiage

[アジアージュ] 2019 SUMMER vol.53

無料

史上初！

13人の室町将軍像を 寺外で一挙公開

特別展

室町将軍

戦乱と美の足利十五代

7月13日(土)▶9月1日(日)

特集展示

館蔵名品展

更紗 生命の花咲く布

7月30日(火)▶10月20日(日)

住友財団修復助成30年記念

文化財よ、永遠に

9月10日(火)▶11月4日(月・振休)

左上から右回りに ●《足利尊氏坐像》京都・等持院 ●重要文化財《洛中洛外図屏風(歴博甲本)》[7/13-8/11]千葉・国立歴史民俗博物館 ●重要文化財《青磁輪花碗 銘馬蝗絆》東京国立博物館 ●重要文化財《騎馬武者像》[7/13-8/11]京都国立博物館 ●《足利義勝坐像》京都・等持院 ●《日月図軍扇》九州国立博物館

あしかがたかうじ Q.足利尊氏じゃないとしたら、 この男いったい誰なのか？

足利尊氏の肖像画として教科書に掲載されていたこの武将、実は別人らしい。



はて？

重要文化財 騎馬武者像

〔南北朝時代〕京都国立博物館（展示期間：7/13～8/11）

兜が脱げたのか、総髪をむき出しにして、折れた矢を負い、抜き身の太刀を肩にのせる勇姿は、激しい合戦から帰還した武将の姿をよく伝えている。日本を代表する武将画の名作だ！

ここに注目.2

家紋 太刀と馬具に描かれた家柄と血統の証

家紋は輪違紋で足利家のものではない。義詮周辺でこれを用いた有力な武将は高師直と息子の師詮。彼らがモデル？

ここに注目.3

軍装 勇壮な武将の威容が伝える南北朝動乱の激しさ

激戦の後を思わせる凄まじい姿は、征夷大將軍の肖像画として相応しいとは言えない？ やはり尊氏ではない？



ここに注目.1

花押 花のように美しく流麗なサイン

2代將軍、義詮の花押（サイン）。父の頭上に子が花押を記すなど不遜。とすれば、義詮に仕えた者への証判の一種か。

特別展

室町將軍

— 戦乱と美の足利十五代 —

2019年 7月13日(土) ▶ 9月1日(日)
3階特別展示室

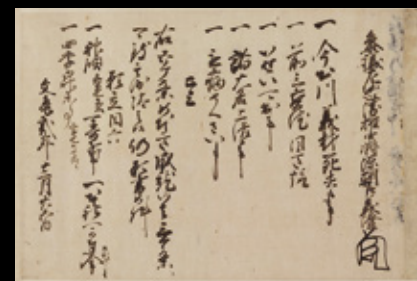
憎すぎて相手を呪い殺した!?



將軍の座を激しく争ったとこ同士の2人。義澄が石清水八幡宮に奉納した願文には、1文目に「義植の死去」が挙げられている。ほら、そこに骨肉の権力闘争ドラマが！

重要文化財 足利義澄願文

〔室町時代〕京都・石清水八幡宮



10代 義植

いここ対決

VS



11代 義澄



オフィシャル・サポーター

ももいろクローバーZ
玉井詩織さん

南北朝・室町時代で 熟した武家文化

足利尊氏から15代、約240年間、武家文化に、公家文化や大陸文化を受け入れ、將軍たちは独自の価値観と美の世界を築きあげた。歴代將軍の肖像や彼らが愛した名品を一挙公開。

南北朝を合一して
金閣寺をつくったのは
私、義満じゃ。

3代 義満



7代 義勝



まだ若いのに！

9歳で在位、 10歳で亡くなった 可愛すぎる將軍

口角が上がっていて、角度によって表情が変わって見える。愛くるしいえくぼにブームの予感。

足利將軍坐像

〔室町～江戸時代〕京都・等持院

尊氏が創建し、將軍家の菩提所となった京都・等持院に伝わる歴代足利將軍の彫像13体が、寺外では今回初めて一挙に公開される。等身大の木像は大迫力。細やかな表情の描写を、工夫された展示空間とライティングのもとで、しっかりと鑑賞することができる。

將軍は
ツライよ！

戦乱の世の波乱の人生に迫る！
足利將軍像13体が堂々勢ぞろい！

空前絶後の
寺外初公開！

写真撮影
OK!

本物！

秘

会場にて

会場での
お楽しみ！



広島県指定文化財 足利尊氏像

〔南北朝～室町時代〕広島・浄土寺

これが実物に最も近いのだろうか。尊氏の姿を伝える肖像画としては、室町時代までに描かれた貴重なもの。穏やかな顔立ちに、泰然自若とした人柄が偲ばれる。



見逃すな！4階 文化交流展示室

九博の醍醐味は文化交流展（平常展）にあり！自慢の名品をご紹介します。

美術ライター橋本さん
注目の収蔵品

vol.01

これが対馬宗家の偽造印だ！

本物の銅印「図書」とそっくりに作られた木製の偽造印たち。
同じケースに並んで展示してある図書と、実際に見くらべてみて

つしま そうけ としよ もくいん
対馬宗家の図書・木印

展示期間 通年（展示替あり）
年代 室町時代～
安土桃山時代・16世紀
所蔵 九州国立博物館

とく ゆうりん
Q「徳有鄰」印

偽の足利將軍使を仕立てる
ために使用。今年は特別展
「室町將軍」におでまし。



いせい いとく
Q「為政以德」印

朝鮮国王が豊臣秀吉
に送った国書の偽造に
使われた偽国王印。

東シナ海に展開した、国際謀略サスペンス劇

史上に名高い「印」といえば、まず「金印」（国宝、福岡市博物館蔵）を思い出さないわけにはいかない。だが九州国立博物館にも、日本の対外交渉史を辿るのに欠かせぬ「印」がある。素材は金ならぬ木。面白いのは、公式の外交文書に用いられたものでありながら、複数の偽造印が含まれていることだ。

中世の始まりに天皇・將軍の二頭体制が成立、内乱の相次ぐ乱世に権力はさら

に分散し、地域の自立化が進む一方、大陸・半島・列島間の交易は盛んになった。そこには守護大名、貿易商人、倭寇（海賊）らさまざまなプレイヤーが参加する。一頭地を抜いたのは、朝鮮王朝が日本からの渡航者に通行を許可する銅印の発給権を独占した対馬島主の宗氏。彼らは「図書」に加えて足利將軍の「徳有鄰」印などを偽造した。そして偽造印を「活用」し、公私にわたる多彩なプレイヤーた

ちの間に介入。日朝貿易を維持・拡大し、自己の利益へと誘導を図るという、ダイナミックな「国際政治経済ドラマ」の主役を演じてみせるのである。

美術ライター
橋本麻里さん

日本美術を主な領域とするライター、エディター。公益財団法人永青文庫副館長。

Twitter: @hashimoto_tokyo

特集展示.01

館蔵名品展 更紗 生命の花咲く布

展示場所 第9室

会期 7月30日(火) ▶ 10月20日(日) ※会期中展示替えあり



あかねじしからくさもんようちやぐしき
茜地獅子唐草文様茶具敷

展示期間 後期:9月10日(火)～10月20日(日)
年代 表地:17世紀 裏地:17～18世紀
所蔵 九州国立博物館

インド生まれの更紗を手にした日本人は
どんなに驚いたことでしょう。それまで見た
ことのない珍しい模様や鮮やかな色あい。
更紗に夢中になった日本人向けの更紗もつ
くられました。布一面に花唐草と愛嬌のあ
る獅子をあらわしたこの更紗を、日本人は
「獅子手」と呼んで愛しました。裏地にはオ
ランダ船が運んできた「かびたん縞」といわ
れるベンガル産の縞があわされています。
このたび九博が誇る更紗コレクションか
ら厳選した約50点を前期と後期の2期にわ
けてご紹介します。

きれいな更紗にうっとり
ユルかわキャラも登場

特集展示.02

住友財団修復助成30年記念 文化財よ、永遠に

展示場所 第11室および基本エリアの一部

会期 9月10日(火) ▶ 11月4日(月・振休) ※会期中展示替えあり

ぶつねはんず
仏涅槃図

年代 清時代・17世紀
所蔵 長崎・春徳寺

これまで1000件以上の文化財の修復
に助成を行ってきた住友財団。その助成
30年を記念した展覧会を開催します。

今回展示するのは、九州と沖縄に伝わ
る彫刻や歴史資料、絵画など計29点。約
半数は九博の工房で修復された作品で、
この「仏涅槃図」もそのうちの一幅。縦3
メートルほどの大きさのこの絵の修復に
は2年もの時間を要しました。

通常は公開されない修復の過程を辿り
ながら、プロの高い技術力を体感するこ
とができる貴重な機会。その「思い」と
「知恵」に、ぜひ触れてみてください。



釈迦が沙羅双樹林において入滅する様子
〈展示期間〉9月10日(火) ▶ 10月6日(日)

修復の様子

